

株式会社 ユニコーン 様

寄贈井戸完成報告・写真

フィリピン ヌエバエシハ州 サンレオナルド町
タンボ村 バランガ
Balanga, Tambo,
Municipality of San Leonardo, Nueva Ecija,
PHILIPPINES

公益社団法人 アジア協会アジア友の会

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-2-14

肥後橋官報ビル 5階

TEL (06) 6444-0587

FAX (06) 6444-0581

E-mail: asia@jafs.or.jp

ホームページ: www.jafs.or.jp

寄贈者 株式会社 ユニコーン 様

- 完成年 2014年1月
- 現地提携団体 KALIPI FOUNDATION (カリピ財団：アジア友の会フィリピン部会)
- 寄贈場所 ヌエバエシハ州サンレオナルド町タンボ村バラング
- 受益者 農民 40 世帯 200 名 (井戸周辺 2 kmの世帯)
- 井戸の形式 ポンプ式井戸 (深さ約 36m (120 フィート))

- 現地の状況
ヌエバエシハ州は、マニラより北に約 100km離れた場所に位置しており、車で約 3 時間半かかります。村人の大半が農業、特に稲作に従事し、人々の 4 割が貧困ライン以下の生活を送っています。
その中のサンレオナルド町は、面積 151.90 k m²、人口 58,120 人 (約 11,624 世帯) の町です。町の中に 15 の村があります。村人の大半が、農業、特に稲作に従事しています。

今回、タンボ村のバラングに井戸をご寄贈いただき、ありがとうございます。

株式会社ユニコーンの皆様のおかげで、今回、200 名の住民たちへ安全な水の供給が可能になりました。周辺約 2 kmの住民たちは、この井戸に水を汲みに来ています。

フィリピンは、近年、気候変動の影響を大きく受けています。この地域は、昨年 11 月の大型台風ハイエン(30 号)の影響は受けなかったものの、毎年多くの台風の通り道となっているために、収穫時期と重なると収入に大きく影響が出てきます。

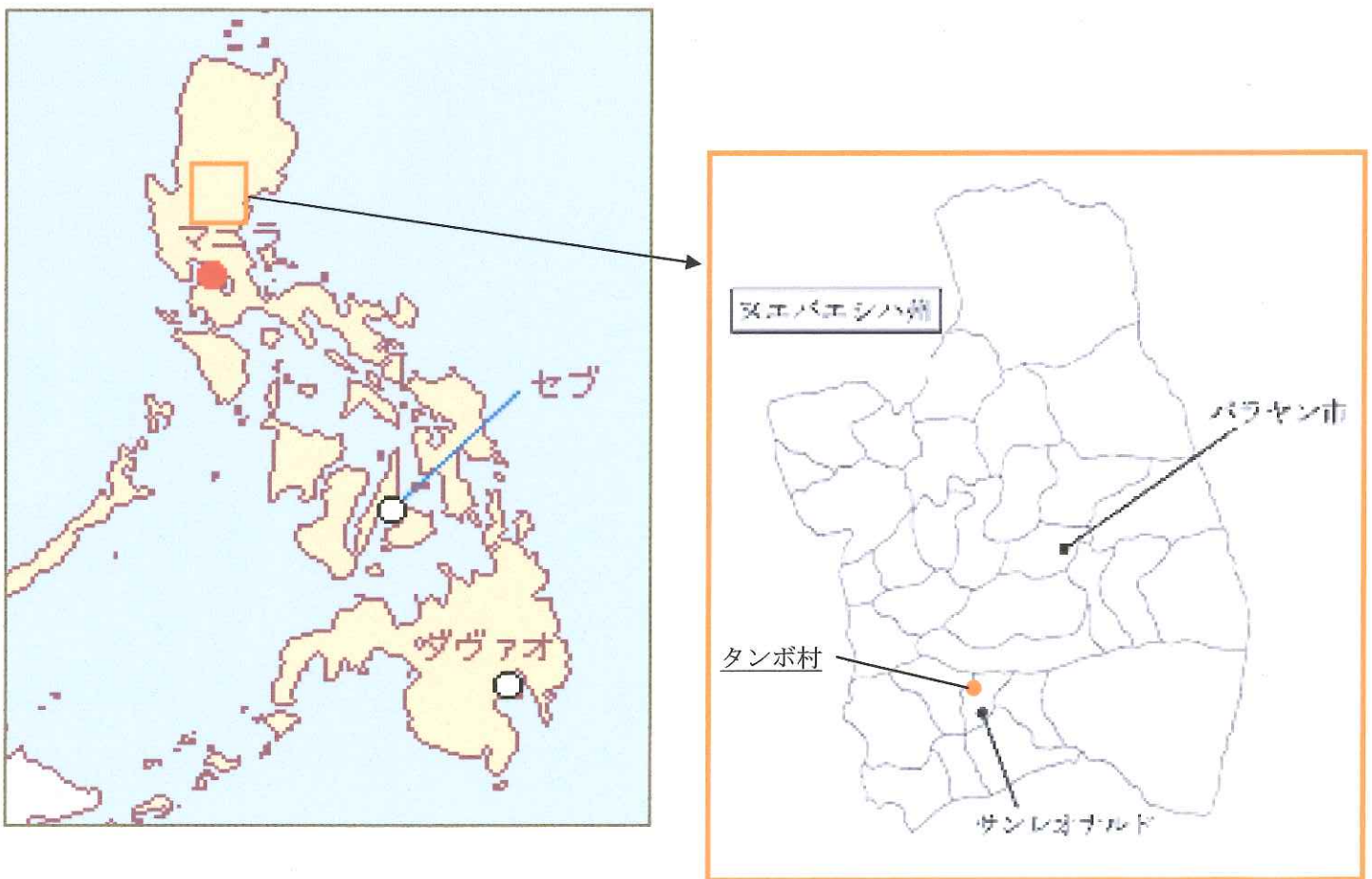
一方、4月から5月にかけての乾季(夏)には、日中の気温が 35 度を超える日々が続きます。そのため、これまで村人が所有する浅い井戸は干上がってしまう状況にあります。

また、さらに村人を苦しめるのが、不衛生な水による病気です。これまでの生活は浅い露天井戸の水を使用しており、下痢や腸チフスといった水を媒介とする胃腸の疾病が頻繁に起こっていました。また、浅い

地層からは農薬で汚染されている水を汲み上げてしまうため、知らず知らずの内に皮膚がんといった病気の原因ともなっていました。

安全な水を、十分な量を確保することがいかに大変なことか、村人は身にしみて感じていました。そのような中、今回、株式会社ユニコーンの皆様のおかげで、年間を通じて安定した量の水と安全で衛生的な水がこの深井戸から汲むことができるようになりました。村人たちは皆様に心より感謝しています。

●地図





NO.



NO.



NO.